

会議録

1. 附属機関の名称

犬山市健康まちづくり推進委員会

2. 開催日時

令和5年7月31日（月）午後2時から午後3時45分まで

3. 会場

犬山市役所 501・502委員会室

4. 出席者

（1）委員

渡辺俊介、宮田昭男、榊原吉峰、宮崎貢一、竹腰篤、杉浦隆、紀藤秀夫、
奥村好樹、布目訓久、田口庸子、小林光子、澤野光子、山口将洋、
岡村千里、光清毅

（2）事務局

健康福祉部長 高木衛

健康推進課（西村岳之課長、野村潤子課長補佐、武内道広課長補佐、

河村佐久良統括主査、古田裕三統括主査、立松武大主任主査、中根久美主任主査）

5. 議題

（協議事項）

「みんなで進めるいぬやま健康プラン21」にかかる市民アンケートについて

（報告事項）

①今後の計画評価、次期計画策定スケジュールについて

②タウンミーティング【9月30日（土）】の開催について

③株式会社今仙電機製作所との健康増進に関する協定について

6. 傍聴人の数

0人

7. 内容

課長	<p>本日は、令和5年度第1回犬山市健康まちづくり推進委員会の開催にあたり、ご多用の中、ご出席いただきありがとうございます。</p> <p>私は、健康推進課長の西村と申します。どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>では、まず始めに、原市長より委員の皆さまへご挨拶させていただきます。</p>
市長	<p>委員の皆さま、改めましてこんにちは。</p> <p>皆さま健康のプロフェッショナルでありますから、体調は万全だとは思いますが、暑さが厳しい折り、お体には十分お気をつけたいと思っています。</p> <p>日頃から、犬山市の皆さまの健康づくりのためにご尽力、ご協力いただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。</p> <p>今日の委員会の主な内容についてであります。平成26年に第2次みんなで進めるいぬやま健康プラン21の策定をさせていただきました。その計画が、今年度で終了することになっています。</p> <p>ですから、委員の皆さんにまずお願い申し上げたいのは、その第2次健康プランの検証をしていただくこと、そして、さらなる犬山市民の皆さまの健康増進のために第3次みんなで進めるいぬやま健康プラン21の策定をすることとさせていただきますので、その実効性のある策定に向けて、これから様々な調査等に入らせていただきます。</p> <p>今日の議題の中で、その調査、アンケートの内容についても委員の皆さまにご相談をさせていただくこととなります。そうしたことによって市民の皆さまの健康への意識や課題をどう捉えているのか、どう考えているのかということアンケートによって把握することにより、実効性のある策定につなげていきたいと思っています。</p> <p>そして、なによりもこの計画策定については、皆さまからご意見を賜ることはもちろんであります。いよいよタウンミーティングにも入っていくことになり、市民の皆さまと議論を深めていきます。こうした計画の策定にあたってタウンミーティングをすると、タウンミーティングの議論だけで終わりがちであります。これからこのタウンミーティングのあり方も色々考えていきたいと思っています。一言で言うと、リアルに感じてもらいたいということと、より市民の皆さまを巻き込んだ策定にしたいという思いからであります。ですから、タウンミーティングと同時に車座トークを展開します。</p> <p>そしてこの健康プランにつきましては、様々な民間の事業者とも連携をとり、協定を結んでいますので、そうした事業者皆さまに直接出展をしていただくことによって、市民の皆さまに健康の体験・体感をしていただき、健康プランの策定につなげていければと思っています。</p> <p>大変に重要な内容になりますので、どうぞ委員の皆さまには忌憚のないご意見をいただきまして、我々犬山市としてのこれからの健康づくりの糧としていきたい、方向性を示すものにしていきたいと思っていますので、どうぞ心からよろしくお願い申し上げます。日頃からのご指導に心から感謝を申し上げ、冒頭の挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>

課長	<p>続きまして、今年度に入り、3名の委員が交代しておりますので、順にご紹介をさせていただきます。</p> <p>【順に紹介】</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、会議録の公表について申し上げます。</p> <p>この「健康まちづくり推進委員会」は附属機関の会議でありまして、「犬山市附属機関の会議の公開に関する要綱第5条第3項」により会議録等を公表することとなっております。</p> <p>そのため、同要綱第5条第2項により会議録に署名が必要となります。この後、会長から2名の委員を指名させていただきますので、指名された委員は後日ご協力をお願いいたします。</p> <p>議事に入ります前に、ここで本日の出席者につきまして、ご報告申し上げます。</p> <p>本日ご都合により、1号の近藤委員、増井委員、2号委員の江畑委員、5号委員の勝又委員がご欠席との連絡をいただいております。</p> <p>委員19名のうち【15】名の委員にご出席いただいておりますので、当委員会の規則第4条第3項の規定に基づき、本日の委員会は成立となります。</p> <p>続いて、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日の会議資料は、事前に郵送させていただいておりますが、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「犬山市健康まちづくり推進委員会委員名簿」 ②「犬山市健康まちづくり推進委員会規則」 ③「本日の次第」 ④「みんなで進めるいぬやま健康プラン21計画にかかる市民アンケートについて」(資料1) ⑤「犬山市民の健康及び自殺対策に関する意識調査(一般向けアンケート)」(資料2) ⑥「犬山市民の健康及び自殺対策に関する意識調査(児童生徒向けアンケート)」(資料2-1) ⑦「欠席委員からのご意見」(別紙) ⑧「計画策定のスケジュール」(当日資料1) ⑨「タウンミーティングのご案内」(当日資料2) ⑩「株式会社今仙電機製作所と犬山市との「健康増進および介護予防に関する連携協定」について」(当日資料3) <p>不足等ございましたらお申し出ください。</p> <p>それでは議事に入ります前に、会長からご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いたします。</p>
会長	<p>皆さま、こんにちは。</p> <p>私事ではありますが、国の方で予防づくりに力を入れようということで厚労</p>

省、経産省中心となり、2025年まではやってくれということで、そこまでは協力しようと思ってやっているところです。1点だけ皆さまにご報告したいのは、2025年まで何をやるかという、5つの目標というものを定めておきまして、その1番の目玉として、犬山市も含めて、全国 1,800 弱ある市町村のうち1,500市町村を、一言でいうと住んでいるだけで健康になるようなまちづくりをしようと定めております。

抽象的で、作ったものの各市町村から厚労省にそれをするにはどうすればいいのか、といったことも言われており、厚労省が中心となって、国交省や経産省なども含めて8月末から9月上旬までには、私もメンバーですが、委員会をつくって、具体的に市町村がどうやったらよいのかといったことを考えるということで、一年ぐらい検討して来年の秋までには決まるとされています。

そんな中、後ほど発表もあると思いますけれども、この犬山市のアンケートは本当にすばらしい、市独自に犬山市がどうやったらいいのかということの方向性を出すものではないかと期待しております。

どうしても官僚とか、偉いお医者さんというのは、エビデンスを重視するところがあります。例えば長寿医療研究センターでは認知症の研究が盛んですが、どうすれば認知症にならないかという、考えながら運動するというのが一番だと言っており、それしか今のところエビデンスがない。例えば社会に関心があるとか、友だちが多いとか、そういったことも認知症にならないのではないかと聞いても、確かにそうだと思うが社会的なエビデンスはまだない、こういう言い方をするわけです。

だからお医者さん、特に理事長とか、あるいは中央省庁の役人の方たちは、エビデンスがないと言えない。現実的なことはわかりますが、せっかく全国1,500市町村を目標として、その市民の方々が健康になるようなまちづくりをするためには、ちょっと違ったものがあっていいんじゃないか。エビデンスだけではなくて、例えば経験に基づくものとか、あるいはビッグデータを使って根拠はよくわからないけれどもデータによるとこうなんだ、こういうものを食べていると元気だといったことを含めて、市町村独自のいろいろな工夫、創意といったものがあっていいんじゃないかと私は思っています。

多少偉そうなことを言うと、そのことを厚労省の事務次官の方に、エビデンスばかりだと市町村は息苦しくて仕方がない。市町村独自の、例えば犬山だったら犬山城を眺めながら、川を見ながら過ごす、そういったことは、根拠があるかどうかは別として、健康づくりに役立つんじゃないか、そういったことも取り入れていいんじゃないかと伝えたところ、事務次官も大賛成だということでした。市町村の創意工夫、独自のもの、こういったものをうんと取り入れて目標を達成して、そのためのものにしたいとはっきりおっしゃってくださいました。

市町村の住民がとにかく明るく楽しく、まさに先ほど市長の話でもあったように市民を巻き込んでやっていくという、そういった姿勢で、行政の一方的な押しつけで市民に対して楽しくないことをやらせるのではなくて、市民も楽しいと思えるような健康づくりをぜひやっていただきたいというのは最近の私から申し上げられる状況でございます。そのつもりで皆さま、十分わかりだと思っておりますけれども、そういう方向で

課長	<p>第3次みんなで進めるいぬやま健康プラン21を作っていければと私は思っています。最近の情勢をみながら、私の挨拶と代えさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>今後の議事進行につきましては、規則第4条第2項により会長が議長となりますので、渡辺会長に進行をお願いしたいと存じます。会長、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>それでははじめに、本日の会議録の署名者について、私から指名ということで、田口委員と山口委員をお願いいたします。</p> <p>それでは、次第に沿って、協議事項に入りたいと思います。</p> <p>事務局より、議論を含めて 15:30 頃を目処に協議事項を議論したいと思しますので、ご協力をお願いします。</p> <p>それでは、協議事項の「みんなで進めるいぬやま健康プラン21」にかかる市民アンケートについて」を事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料1 みんなで進めるいぬやま健康プラン21計画にかかる市民アンケートについて説明】</p> <p>【資料2 犬山市民の健康及び自殺対策に関する意識調査(一般向けアンケート)について説明】</p>
会長	<p>ただいま事務局から説明のあった一般向けの15歳以上対象のアンケートについて、委員の皆さまから忌憚のないご意見をいただき、よいものを完成させていきたいと思しますので、ご意見をお聞かせください。</p>
委員	<p>今回のアンケートでは多くの新規設問があつて、全体としては賛同いたしますが、できるだけ聞き方を具体的にわかるようにした方がいいなと思うところがあります。問20では、お酒を飲むことについてですが、「ほとんど毎日飲んでいる」や「ほとんど飲まない」はわかりますが、「ときどき飲む」というのは人によって感覚が違うと思います。例えば、「週に何回程度」とか、数字を入れたらどうかと思います。</p> <p>それから、がん検診はなかなかこれまで受診されていなかったということもあって、その点を聞くことはとてもよいことだと思います。</p> <p>また、今全体の説明をしていただきましたけれども、今回のアンケートをするにあたってどういったことをポイントにしたのかとか、これまでいろいろ課題がたくさんあったと思いますが、これはぜひ前回と同じ聞き方をして比較検討をしたいとか、そういった思いがもしあれば教えてください。</p>
事務局	<p>設問に答えやすいようにということで、問20はまた考えたいと思います。</p> <p>前回と比べて今回何が特徴として違うのかといいますと、一般のアンケートの方では特にフレイル対策についてが、ほとんど新しい設問になっております。これから高齢者</p>

<p>会長</p>	<p>の方が増えてくるものですから、重点的に認知度をまず聞いています。また、国の第3次計画でも先ほども申し上げました意識することなく自然に健康づくりをしたくなる仕掛けをつくっていくということをこの計画に盛り込むことになっておりますので、新しくといえばそこが一番前回と変わったところですよ。</p> <p>また、後ほど児童・生徒のところでもご案内しますが、この健康づくり計画だけではなく、いろいろな計画を混ぜ込んだ計画をつくっていくものですから、特に食育推進計画など、食の部分のところも少し重点的にやっていきたいと思っておりますので、そういった設問が増えております。</p> <p>前回の一般のアンケートとしては、枝葉も含めると70問近くありましたが、今回、かなり精査しました。インターネットで答えていく形になるので、途中でいやになってもいいので、残すところは残して、不必要なところはとっていくということで、今現在45問をつくっております。あと、自殺対策が10問増えてきますので、全体としては55問程度になりますので、このあたりのところでアンケートの内容としては精査したところですよ。</p> <p>今ご説明を伺って、45問ありますが、ほとんどが何々を知っていますかや、運動をしていますかといった事実を聞いています。ところが、問14と問45、これだけは事実じゃなくて意見を聞いています。先ほどの委員のご質問とも関連しますが、ほとんど事実を聞いています。そうすると事実だけ結果が出てきますが、それだけでははっきり申し上げてあまり意味が無い。答えとして出てきた事実を受け取った市役所側が、あるいはこの委員会が、だからなんだという部分が必要です。</p> <p>ところがさっき言った2つの問は市民が何を求めているかということに関連するから、これはこれで参考になると私は受け止めています。そういう事実を含む市民の意見を合わせて、それを受け止めた行政側がどういう対策を打つかということが肝心なことであり、それをご配慮いただければよいのかなと私は感じましたので、先ほど委員がおっしゃった比較という問題も含めてよろしく願いいたします。</p> <p>もう一点、犬山市民の健康及び自殺対策とあるものですから、私が委員会を長い間やっていたこともあるかもしれませんが、見出しがきついな、と感じます。つまり、自殺のことを聞いているし一緒に聞きたいという気持ちも分かるけれども、後半を見ると自殺の方は10問くらいしかまだ決まっていないということで、ほとんどが健康意識の調査です。自殺に関する設問ばかり入ってくるのも個人的に嫌かもしれないが、もう少し設問があってもよいかという印象を受けました。</p> <p>他の委員の皆さま、ご意見があれば忌憚なく言っていただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今会長がおっしゃったことは私もまさに感じます。</p> <p>仮に、市が私にこれを送ってきた場合にどうかという視点で見ました。今言われた1点目について、私もタイトルが少しダイレクト過ぎる感じていて、例えば、「犬山市民のからだところの健康づくりに関する意識調査」というふうに柔らかくしたらどうかと思いました。</p>

	<p>それから設問に関しては先ほど45問ということで、数もあまり多すぎると今度は見た段階でどうしようかな、という感じがします。これは適当かな、という気がいたしました。</p> <p>よくこういったアンケートですと最後のところに自由記入欄があり、書く人は結構書かれます。そういった中にも非常に参考になる意見もあるかと思しますので、この欄を十分にとっていただいて、意見を書ける人には書いてもらう。そういったことがあればよいと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他の委員も遠慮無くご発言いただきたいと思います。</p>
委員	<p>問7ですが、やはり検診というのは継続して受けていただくことでその方の健康化に繋がっていくと思います。問7-1で受診の有無について「ある」と「ない」しかなく、同じ「ない」でも過去一年のことしか聞いていませんが、これから先も受ける気がないのか、ここから先は受けてみたいとか、そういうこれからの意識を問う設問があってもよいかと思えます。</p>
会長	<p>私も委員の意見に賛成です。ぜひ単年度ではなく、これからのことも聞いたほうがよいと思います。</p> <p>例えば、今日本で一番平均寿命が短い都道府県は青森県です。青森県は「これからも検診を受ける気がない」という答えが非常に多いです。そのせいで若年層、50代のがん死亡が一番多いということで、平均寿命が青森県は特に低いわけで、そういった意味からも、今「ある」「ない」だけじゃなくて、委員がおっしゃったように、これからあるのかないのか、ということも大事だと思います。</p> <p>ありがとうございます。他の方でご意見がある方は発言お願いします。</p>
委員	<p>一つ、フレイルのところ、用語が点線の枠の中に※で書かれていますが、これはこのまま載せられるのですか。</p>
事務局	<p>はい、載せる予定です。これはあえてフレイルを知らない方も、このアンケートをとることで知っていただくということにも繋がりますので、こちらの点線のところはそのまま活かします。</p>
委員	<p>それから、設問の後ろに「あてはまるものいくつかでも○」とかいろいろな表現がしてありますが、問45だけは「あてはまるものすべてに○」という表現がしてあります。表現はすべて統一した方がよいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>「あてはまるものいくつかでも○」という表現に統一させていただきたいと思います。ありがとうございます。</p>

委員	<p>このアンケートは「第2次みんなで進めるいぬやま健康プラン21」の検証の一つとしてつくって、また第3次計画に向けて資料として参考にしていくということだと思います。健康日本21の中でいろいろな具体的な数値目標もございましたので、そういったものはまたしっかり、現状を確認していただいて、第3次計画に活かしていくと思います。</p> <p>その中で、このアンケートの位置づけとといいますか、どれくらいの重要性をもって活かしていけるのか。現状、いろいろな数値や目標値があると思いますので、そういったものもしっかり把握していただきたいと思います。アンケートは無作為で2,000人抽出ですので、全体を確実に反映しているのかなという部分もございますので、現状の数値とアンケートとの比較とといいますか、どれくらいのボリュームをもってこのアンケートを活かしてやっていかれるのかということをお伺いしたいと思います。</p>
事務局	<p>先生がおっしゃいました指標については、このアンケートの中で15の指標をとります。この15というのは、「生活習慣を改善したいと思いますか」、「適正体重」、「かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局をもっていますか」、「がん検診を受けたことがありますか」、「あなたは1日30分以上の運動を、週2回以上行っていますか」、「あなたは1日に何歩くらい歩いていますか」こちらが指標になっております。あと、たばこについて、お酒についても指標となっておりますので、アンケートでしか聞けないことは聞く予定でおります。</p> <p>ただ数値目標は、先ほど申し上げました15項目以外にも、かなり他にもとるものがありまして、特定保健指導実施率や受診率、他にも低出生体重児がどれくらいいるのかなどは健診の中からとっていきますので、数字でとれるものは統計の数字でとっていきますし、アンケートでしかとれないものについては先ほど申し上げました15項目をそちらの方でとっていきます。</p>
会長	<p>今、委員が伺っていることは、例えばこの結果として、検診率でもなんでもいいんだけど、健康日本21で謳っている目標に達していない項目が仮にあったとする。そういったものはそこまで引き上げますよというふうに犬山市として目標設定するのかどうか、そういう意味でのご質問だったと思いますが。</p>
委員	<p>もちろん、第2次で犬山市で達成できていないものに対しては、達成できるように第3次に活かしていただきたいと思いますし、アンケートだけでは当然いろいろな数値目標との比較ができませんので、アンケートはアンケートで重要だと思いますが、全体的にどどのようにやっていかれるのかなという質問です。</p>
会長	<p>そういうご主旨だと思うので、いずれにせよ結果が出てきたときに、結果が出たというだけではなくて、先ほど冒頭でもあったように過去の比較もあるだろうし今後のこともあると思います。それから国の指標と比べてどうかというような使い方など、結果が出ればいろいろ使える材料ですよ。そういった形で、私としては活用してもら</p>

委員	<p>いたいと思いました。 ありがとうございます。他の方はいかがですか。</p> <p>内容のことではないですが、最初の「あなた自身のことについて」ということで年齢を書く項目がありますよね。15歳から全年齢だと思えますけれども、10代、20代、30代、40代でかなり差が出るんじゃないかなと思います。集計の仕方でなにかそういうところはあるのでしょうか。</p> <p>もう一つは、身長と体重を記載するところがありますが、そこからBMIは自動的に出るようになるのでしょうか。そういうところの集計の仕方をお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>BMIの方は、身長と体重から出すようにします。それでやせの人、肥満の人ということで、年代別で出していきます。最終的にはそういった集計結果を出します。</p>
委員	<p>年代で、項目別で何%、どの項目で何%というのがわかる訳ですね。例えば15歳から20代30代と、50代60代とでは差が出るのは、当然だとは思いますが、そういうところの違いは、はっきり集計の中で出てこればよいなと思います。</p>
会長	<p>東京の話で申し訳ないですが、日本商工会議所の会頭が変わり、3月末から4月頃に加藤厚生労働大臣から日商の新会頭に連絡があり、地域の中小企業の健康づくりを一生懸命やってくれということで日商、東京商工会議所あるいは全国の商工会議所の方でいろいろ動き始めたようですが、地域の中小企業の活性化について、先ほどの説明にもあったように従業員の残業時間の項目もありますので、従業員の健康づくりも含めて何か委員からご意見あればお願いします。</p>
委員	<p>今言われましたように、会頭が変わりましたが、それ以前から健康づくり宣言をされてますので、各会議所から事業者の方に健康づくり宣言をしてください、といった運動は3年ほど前からしています。当然当所もそういったことはやっています。数ははっきりとはしませんが、犬山でもそういった宣言をされている事業所は確かにあります。まだまだそれを推奨しろということで日商の方から話は来ていますので、今後もそういった活動はしていきます。</p> <p>それから、協会けんぽとも連携しまして、各従業員の方、会員事業所および会員じゃない事業所の方に対しては健康相談とか、そういったものは周知していますのと、健康診断も当然、協会けんぽさんの健康診断を8月に行いますので、そういった活動はさせていただいています。特に健康面で会員事業所の方はこれからいろいろな人材を育てるにあたって、一つの就職の、その企業を選ぶ理由になりますので、そういった運動として健康づくり宣言をしていただくといったことは取り組んでいます。</p>
会長	<p>健康づくり宣言のお話がありましたが、今日本全体でいうと、私たちは2025年までに健康づくり宣言をしていただく中小企業が10万社以上になるよう目指しています</p>

	<p>た。日本には中小企業が350万社～400万社近くあるといわれていて、そのうち健康づくり宣言をしている中小企業は平成23年度で12万社になり、2025年までの目標を超えてしまったので、経済産業省の方でも目標を上方修正しようということを今議論している。</p> <p>説明していただいて私から変なことを申し上げて恐縮ですが、健康づくり宣言は10万社を超えています。健康経営優良法人認定制度に申請する中小企業は約1万2千で10分の1ということで、宣言はもちろん大事ですし宣言をする企業も増やしたいけれども、健康経営優良法人認定制度に申請していただきたい。私の立場からお願いするのも変な話ですが、日商さんもそういったお考えとっておりますので併せて、この機会ですから、ご要望としてよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
委員	<p>今おっしゃったことについて、私どもも昨年健康経営優良法人に認定されたので、それを会頭の方から各事業所に、会頭メッセージという表現で周知しているところでございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他の方はいかがですか。</p>
委員	<p>喫煙に関して、私も禁煙外来をやっているので実感していますが、吸っている本数や年数というのは費用関係と直結するなどいろいろなこともありますので、具体的に書けるものは示した方がよいのではないかと、より具体的に結果としてつなげられるのではないかと思ひます。</p> <p>先ほど他の委員の方の質問にもあったかと思ひますが、結果をどのように具体的に今後アクションとして次の健康につなげていくかというのを、示していくことが重要かと思ひますので、またしっかり考えていきたいと思ひます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>15:30まであと30分ほどですが、児童生徒向けアンケートがまだ残っております。児童生徒向けアンケートについて説明お願ひします。</p>
事務局	<p>【資料2-1 犬山市民の健康及び自殺対策に関する意識調査(児童生徒向けアンケート)について説明】</p>
会長	<p>ありがとうございました。こちら先ほどの大人の方と同様にご意見をいただきたいのですが、まず私から一点。現場の方が詳しいと思ひますが、問4「今、いっしょに住んでいるご家族すべてに○をつけてください」とあります。私の知る限りでは最近小中学校では、例えばこの書類をお父さんあるいはお母さんに渡してください、というのは駄目だそうです。保護者に渡してください、となっている。お父さんもお母さんもない方や、片親しかいない方も現実にいらっしゃるということで、現場ではそのようにしているらしいです。</p>

	<p>こういう問については皆さまの感覚では、違和感はないですか。違和感がなければよいのですが、市の配布物にこういう質問があったとなると、例えば「うちはシングルマザーなのに大きなお世話だ」と言われかねないのかなと。余計な心配かもしれませんが、私はそういった気がしましたがどうでしょうか。</p>
委員	<p>無作為での配布になりますし、そこは気になる場所ですが、結局家族構成によってこのアンケートの内容は変わってくると思うので、そこは何らかの形で知るべきだと思います。この質問の仕方がそういった反感を買うところがあったとしても何らかでは聞きたい。回答はできないですが、何か他の情報収集の方法を考えた方がよいかとも思いました。</p>
会長	<p>逆に言うと、市側に問い合わせがあったり、あるいはクレームがあったとしても説明はつく。私も個人的にはそう思うけれども、どうでしょう。まだ発言されてない方もご遠慮なくどうぞ。</p> <p>確かに家族構成を知ることは子どもの健康には重要だと思います。聞くと思わぬ方向からクレームがあり得ますが、そういったことはないですか。</p>
委員	<p>学校現場などの先生のお話を伺いたいと思いますが、私としてはこれ自体にはそんなに抵抗感はないと思います。むしろこれから様々な方がいらっしゃいますし、例えばLGBTQの方もみえますので、その他の家族のところにそういったパートナーのような回答があることもあるのかな、などと思っていますが、基本的には大丈夫だと思います。</p>
会長	<p>これは基本的に子どもに答えてもらうものですよ、親に聞いてもよいものですか。</p>
事務局	<p>基本は子ども自身が答えるアンケートになります。</p> <p>わからないことは保護者にお尋ねしてもよいということにしております。</p>
会長	<p>他の方もご意見あればぜひご発言お願いします。</p> <p>もう一点私から、たばこやお酒について聞くところで、ここには20歳までは法律により禁止されていることが書かれています。何のためにこれを書いているのか。法律で駄目だと言っておいて20歳になったら吸ってもよいと思う、と聞く意味というのは。どういう意図があって聞くのですか。</p>
事務局	<p>低年齢から始めるほどなかなかたばこやお酒がやめられないということもありますが、まずは現状、今の教育の中でお子さんたちがどういう認識でいるのかというところを把握したくてこういった設問になっております。本来お酒やたばこを吸えない年齢でありますので、たばこやお酒の設問というのはどうなのかとも思いますが、将来成人になったときに、今の子どもたちの現状の認識がどういう影響を与えていくの</p>

<p>会長</p>	<p>か、今が非常に大事ということで、今の認識をおたずねする設問にしております。</p> <p>であれば逆に、あとから法律で禁止されていますと言っちゃおうと、「そうかそうか、じゃあ答えを変えてこっちにしよう」というバイアスがかかってしまうんじゃないか、という気がします。だから書くことも正しい選択だけれども、書くと答えを変えようというバイアスがかかっちゃうという気もしたので。法律上では悪い答えだということになってしまう。こういった受け止め方を私はしたので、もちろん皆さんのご意見を承って、という話です。</p> <p>私ばかり話しても仕方がないので、ご意見をお持ちの方はお聞かせください。</p>
<p>委員</p>	<p>子どもたちの健康にとって、特に体を動かす子と動かせない子の差がものすごく出てきているというようなことを学校の先生から聞きました。4ページの「運動や体を動かすこと、睡眠について」ということで、問20でどれくらい運動をしているかという、時間だけを聞いていますが、どういうスポーツや遊びをしているのか、というところも聞いてみたいと思います。</p> <p>それから SNS の影響についても非常に大きいですが、問29のところで、「自分のものに限らずスマートフォンやタブレット」のところに(学校で貸し出しているものを除く)となっていますが、これはどうしてでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>学校で貸し出しているものを除く、と限定しましたのは、学校で貸し出しをする際というのは学習のため、小学校だと長期の休暇のときなどに貸し出しをしているとい伺っております。そういった学習を目的としたタブレット使用以外に個人でどれくらいの時間を費やしているのか。おそらくお子さんたちの運動の低下等にも結びついてくるような、スマートフォンやタブレットの使用時間の影響を知りたいと思っておりますので、それぞれ個々が学校と違う使い方の中でどれくらい、使っているのかということ把握したいと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>私の考えは、やはり学校で貸し出しているものであっても、それから他のものであっても、1日にだいたいどれくらいの時間が適当なんだろうかという議論を学校でしていただいたほうがよい。例えばヨーロッパの他の国では、そういった時間の目安みたいなものが決まっているといいます。ですから、視力低下の問題も非常に含んでいると思いますので、私はタブレットやスマートフォン全体として、1日どれくらい、そのうち宿題にはどのくらい使っているのか、くらいのことは知りたいなと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。また小学校中学校のタブレット貸し出しの制度などの事情を把握したうえで、また内容を検討していきたいと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>要するに、タブレット端末で、SNS がらみのものを使っている時間を聞きたいわけですよね。これだといかにも学校のものならよい、という感じになっている。印象として</p>

事務局	<p>学校以外のものは駄目、というような。そういうことではなくて、そういったものも含めてどれくらい使っているのか、ということが聞きたいのであれば、委員がおっしゃるように学校のものを除く必要はないわけです。そのあたり、また再検討してみてください。</p> <p>スポーツのことについてはどうか。</p> <p>時間とともに運動の内容について記入していただければ、というご意見をいただきました。ありがとうございます。</p> <p>こちらにつきましても、内容等を運動の時間とともに記入していただくかどうか、中の方で前向きに検討していきます。</p>
委員	<p>犬山市は分かりませんが、名古屋市とかはヤングケアラーの問題がテレビ等でもずいぶん取り上げられています。そういう子たちはまともな親御さんがいるということが少ないくらいで、いろいろ食事についても支援がされており、非常に大切なものになっています。これだけ大きな問題になっているものが先ほどから聞いていてもどなたも言われません。問12のところですね。それとなく、実際ヤングケアラーの子たちがどのくらい存在するのか、調べる必要があるのではないかと思います、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>前回のアンケートでも、ヤングケアラーのことはお聞きしていませんでしたが、お手伝いをするかというようなところを前回聞いておりました。今回ヤングケアラーということも少し頭にありまして、お手伝いということと、それがヤングケアラーという問題にまでなっている、子どもにとっては負担となっているお手伝いだったりすることもありますので、非常に今の時代を反映した設問になってくるなと思います。またそういった課題を把握する、実態を把握するという意味でも非常に大事な設問だと受け止めさせていただきたいと思いますので、またこちらにつきましても内容に盛り込むかどうか検討させていただきたいと思います。</p>
市長	<p>ヤングケアラーは別途アンケートをとる動きになっているはずで、子どもたちに直接聞いていくという予定でいますので、ヤングケアラーは別に実態調査を今年度中にするという認識でいます。ご理解いただければと思います。</p>
委員	<p>今、ちょうどヤングケアラーの話がでました。私もそういう問題はとても大きいと思います。こういう家庭を差別してはいけませんが、どうしても人の家で食べたり、どこかで買って食べたり、そういう環境にあると思います。でするので問の中にもう少し、掘り下げた質問があってもいいんじゃないかと、そう思ってこのアンケートを見させていただきました。ですから食事のところ、「あなたは、日ごろ自分で食事を作ることができますか」というところをもう少し工夫して書いてみたり、「きちんとした食事がとれるか」というところも、もう少し書いてみたりする必要があって、そこからなにかを</p>

会長	<p>把握することができるのではないか、とこのアンケートを見させていただきました。</p> <p>ありがとうございます。今のお二方の、ヤングケアラーそのものは盛り込みにくいかもしれませんが、自分で食事をとれていますか、というようなことからケアしていることとお伺いするという方法も含めた質問だと思います。大切なことだと思いますので、ぜひ検討ください。</p>
委員	<p>歯と口の健康についてのところですが、歯磨きをいつしていますかということと、虫歯予防について気をつけていることはありますかという2つあります。たぶん健康日本21についてはこれから検証をされるのでしょうか、う蝕の罹患率は、目標を達成しているのかはわかりませんが、江南保健所管内の数値を見ても割とよい状態だと思います。</p> <p>今数値としてすごく悪いのが、学童期の歯肉炎、それがすごく数値が悪い状態だと思います。数値目標も確かあったんじゃないかな。第2次のときに歯肉炎の数値目標とかはありませんでしたか。</p>
事務局	<p>お子様の数値目標で、歯肉炎についてはございません。</p>
委員	<p>ないですか。学童期の歯肉炎というのが、う蝕に比べるとすごく悪い状態ですので、今後第3次の計画を考えるにあたって、虫歯予防について気をつけていることはありますか、という設問だけですが、歯肉炎に関しても、なにか周知できるようにしたほうがよいかと思います。</p> <p>アンケートの対象がちょうど学童期の小学5年生ですので、通常口腔衛生の歯磨きについて一番自立につながるころです。小学校低学年だとお父さんお母さんの仕上げ磨きなどが行き届いていますが、3年生から4年生くらいでお母さんの手が行き届かなくなって自立につながる時で、そのときに歯肉炎が多くなっています。今はコロナの影響でマスク生活が長くて、いつも口を開けていて歯肉炎になったといったこともあります。現状として数値がすごく悪いというのがあります。なにか歯肉炎に関する意識にかかるような、単純に言うとう蝕予防のところ「歯肉炎」という言葉が入られるようならばよいと思います。そのあたりをご考慮いただきたいと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。子どもの歯肉炎予防の啓発につながるような設問としていきたいと思います。</p>
委員	<p>私は中学生の子どもがいて、スマホばかり見ていて本当に大変苦労しているところですが、視力もどんどん落ちている。20分見たら遠くを見るなどといったいろいろな対応の仕方など、例えばそういうことをやっているかというような設問など、何かあるとよいかなと思います。</p> <p>また、問24に「④自分は役に立たないと強く感じる」と書いてありますが、何に対して</p>

	<p>役に立っているかということも具体的に、例えばクラブ活動や、あるいは何か学校のクラスの中で役に立つとか、いろいろあると思いますが、そういうのが示してもらえるとよいと感じました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。今の質問に関連してですが、この調査票は対策を聞くものか、聞いた後に対策を立てるものか、どちらなのでしょう。要するに、これは子どもに聞いて何するの、といったことを聞かれたらどう答えるんですか。</p>
事務局	<p>子どもの健康と教育をつなげていくための課題抽出と実態把握になればと思っておりますので、対策に繋がるような設問を検討しています。</p>
会長	<p>とすると、例えば今お話があったように、スマホで目が疲れるけれども子どもがスマホばかり見るということや、ヤングケアラーの話もありましたが、喫緊の課題として今すぐ対策を立てなければいけない問題もあります。そういう問題に対して、どのように対応していくつもりですか。</p> <p>重要なものも結果が出てから対策を練るのか、あるいはもう最初から対策を入れるというご提案もありましたが、すぐお答えするのは難しいかもしれませんが。</p>
事務局	<p>あらかじめ対策として、現状そのような行動をとっているかどうかというのを把握するに越したことはないと思います。あとは全体的な設問のバランスにもなりますけれども、集計が非常に細かくなっていくことになると思いますので、詳細を対策として入れていくかどうかはバランスを見て決めていきたいと思っております。</p>
会長	<p>そのバランスを考えていただきたいと思ったのは、例えば、自分は役に立たないと強く感じるなんて項目に、仮に「あてはまる」が多かったら大変なことでしょう。小さい子どもが、中学2年生、小学5年生という子どもが役に立たないと考えているなんて。何に役に立たないかわからないが、それは早急に手を打たなければならないという話ですよね。だからそのあたりを、総合的なバランスとおっしゃいましたが、考えていただきたいと思っております。</p> <p>他の委員の方もご遠慮なくご発言ください。</p>
委員	<p>先日中学校の授業を見させていただく機会がありましたが、1年生から3年生までほとんどの皆さんが授業中マスクをしていたんですね。これは、先ほど意見があった歯と口の健康にも絡む話ですが、心の健康のところでもマスクをどういった理由でつけているのか、という設問もあってよいかと思います。なんとなく心の健康に関することも含まれているのかな、と感じたものですから。その授業を見させてもらった方々は、皆さんマスクをしていませんでした。そのあと1年生から3年生までの教室を見せたら、していない方はいないくらいでした。企業は今ほとんどしていないので、異様な風景というおかしいですが、そう思ったものですから、これは心の健康の</p>

<p>会長</p>	<p>ところでどういった理由で、ということを知りたいと思いました。</p> <p>コロナというと、2類から5類に移行してから、私は普段マスクをしています、例えば東京で見ても、企業でも役所でもしていない人が増えていますよね。個人的には特に私の様な後期高齢者は危ないと思っていますが、子どもの場合はどうでしょうか。これはどなたの専門でしょうか、小児科は何か関係ありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>クリニックですので、マスクをほとんど皆さんしてきます。特に幼児もマスクをしている人が多いです。医療機関ですからマスクをしてくださいとは言っていますが、幼児に対しては昔から積極的に進めてはいないのに、医療機関に来る患者さんだけかもしれないませんが、小さい子でもマスクをして来られる方がほとんどです。</p> <p>よく言われるのは、ずっとマスク生活ということはお互いの顔が見えないということです。マスクをしないという何か暗黙のプレッシャーがあるのかもしれないし、顔を見せるのが少し精神的なストレスになるとか、そういう話は学校の先生からも聞かれているのではないかと思います。ここ2～3年、お互いに顔を見合わせて話すということはほとんどなかった。これはマスクをするしない以前の問題で、マスクをすることによって相手の顔を見て相手の心を察するというような能力が非常に落ちているのではないかと、そういう面で人に顔を見せることが非常に怖いという意識がどこかにあるのではないかと、これを指摘される方もいらっしゃると思います。それは今後将来的に、その子たちの成長・発達に影響を与えるのではないかと。すぐには出てきませんが、いろいろな精神的な発達、そういうものが5年後10年後に何か統計をとってみると出てくるのではないかと、これを指摘されている先生方もいらっしゃると思います。</p> <p>私どもはマスクをだいたいしています。最近はやらない方が外を歩いていることも多いですが、むしろしているとどうしても今は目立つようにはなってきました。夏になってマスクをされる方が少なくなってきていますので、徐々にそのあたりの認識が改まって来るのではないかと、思っております。マスクをする、ということに感染以外の要因はまだ残っているのではという気はしています。</p>
<p>会長</p>	<p>子どもがマスクをしているということは、あまり体にはよくないですか。</p>
<p>委員</p>	<p>やはり動きにくいですね。身体活動が少なくなると思いますので、これも先ほどからアンケートで出ている運動の面から言えばよくないということになります。それは今後、このアンケートの趣旨でもありますが、生活習慣病のリスクが上がってくることが運動量の不足から起こるのではないかと、思われております。だから、コロナ禍ということで子どもたちの環境は非常に影響を受けていると、思っております。これが長期にわたってどのような影響を与えるかということは今後の課題ではないかと、思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>そうすると、確かに何か運動に絡めて聞いておく必要があるような気がします。これ</p>

	<p>もいろいろな宿題を与えて申し訳ないですが、検討してもらえますか。 他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>心の健康について、というところの問24「②自分の親(保護者)から愛されていると思う」というの質問に対して、これで仮にあてはまらないと答えられるお子さんがいたとした場合についてです。</p> <p>やはりその時点で、犬山市の中で自殺対策といったところも進められるわけなので、そこで相談窓口みたいなものが一緒に分かるような仕組みを入れてはどうかと思います。そのアンケートの中に入れるというのは難しいかもしれませんが、対象じゃなければ気にならないと思いますし、子ども自身がこういうところに電話しようと思うことが起きているのであればその子どもを助けることができないか、ということを少し思いました。</p>
会長	<p>問24の②は、「あてはまる」だったらいいんだけど、「あてはまらない」だと問題なわけですね。あるいは「④自分は役に立たないと強く感じる」にあてはまる方がいたら、確かに自殺しかねないから、その前にそういった相談窓口を宣伝しておくような、ここに電話できる、というようなものをいれておいたらどうか。</p>
事務局	<p>問26「あなたは体のことや心配ごとについて相談できる人はだれですか」という設問がございまして、今、委員からご提案のありましたことを入れるとしましたら、こちらの下のあたりに入れるなど挿入する位置についても中で検討してまいりたいと思います。</p>
会長	<p>問24～26はそういった心の中の悩みを聞いているわけで、あるいは誰に相談するのというところで相談窓口を書くと。このあたりも検討の余地があると思いますので、お願いいたします。</p>
委員	<p>問24のところで、「②自分の親(保護者)から愛されていると思う」という項目がありますが、自分が家族を好き、というような項目があってもよいと思います。自分が家族を好きかどうかという点について、反抗期とかいろいろあると思いますし、そういう項目があってもよいと思っております。</p>
事務局	<p>では、今②として入っている保護者から愛されていると思うという設問と、今ご意見をいただきました自分が家族を好きかどうか、という2つの設問として追加する形で検討して参りたいと思います。</p> <p>表現は検討をさせていただきますけれども、そのような項目を1つ追加で入れさせていただきます。</p>
委員	<p>時間が過ぎましたので長くは話しませんが、1つだけ申し上げたいと思っております。</p>

	<p>今日私の心の中では児童生徒とか市民の皆さま方から、それぞれ皆さん考えていることを聞き出せるようなアンケートをつくりたいと、自分では立場上そう思っておりました。今皆さんから活発なご意見を出していただきましたので、それを非常に尊重しまして、これからそれを活かすような形で個々の健康、地域作りに役立てたいなと思っております。</p> <p>それからもう1つは、例えばお上に頼るとか、そういった頼るという考え方ではなくて、自分のことあるいは自分の健康は自分で守るという、こういう概念が20年ほど前にございました。これは WHO が定義した概念でございます。古いものですが、今後この健康づくりを推進するにあたって、私は大切な根幹に関わるような哲学だと思っておりますので、こういうことは忘れないように推進していきたいと思っております。</p>
会長	<p>今、副会長がまとめていただいて、本当にありがとうございました。ぜひ、今日いらっしゃった皆さんのご意見も整理して、事務局の方で内容を活かすとともにどんどん採用いただいて、集計していただきたいと思っております。</p> <p>約束した時間を超えておりますが少しだけ、今日ご欠席の委員より別紙の通りご意見をいただいております。</p>
事務局	<p>【別紙 欠席委員からのご意見を読み上げ】</p>
会長	<p>それからもう1名、欠席された委員の方からも既に意見をいただいて反映されていると伺っております。</p>
事務局	<p>はい。今日ご欠席の委員からは、どうしても他の会議があったということで、子どもと児童生徒の部分のところのアンケートを事前に見ていただきまして、表現方法や内容につきましてもいろいろと貴重なご意見をいただきましたので、そこは今日お見せしております調査票に反映しております。</p>
会長	<p>では、ご説明にあった欠席委員からの2つの意見に関してはどのような扱いにされますか。</p>
事務局	<p>皆さまからもご意見いただければと思いますが、今日いただいております皆さまからのご意見も合わせまして、また事務局側と先生方とも審議をして、加えるかどうか決めたいと思っております。</p>
会長	<p>私も個人的なところをいうと賛成ですが、例えば市が全額お金を出して住民に渡すのか、というような問題が発生するということもあります。つまりウェアラブル端末をつけてもらうと歩数がわかるなどいろいろとよいけれども、お金がないから市が全額負担してくれ、などです。取り越し苦労かもしれませんが、そうすると別の問題が出てくるということもあるし、特に犬山市みたいな、人口7万人くらいいるところではそうい</p>

<p>会長</p>	<p>った問題があるかなという気がしたので、無責任な言い方になるかもしれませんが、予算も含めこれも検討してみてください。</p> <p>それでは、今日は多くの活発な意見をいただきまして本当にありがとうございました。</p> <p>それではこの後、本日いただいたご意見をもとに、事務局の方で内容を精査、集計して、9月からのアンケート調査を実行していこうと思っております。</p> <p>また、修正された調査票については、皆さまにお示しすることを考えておりますけれども、とりあえずはまず私と副会長にお示しいただいて、何かあればまた委員の皆さまのお知恵をお借りしたいと思っております。よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〈異議なし〉</p> <p>それでは、異議なしということで、この調査票を精査し、市のほうで、私どもにお示しいただいたうえで、実施していただきたいと思います。</p> <p>では最後に、報告事項が残っておりますので、大変恐縮ですが、簡潔に報告事項のご説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【当日資料1 計画策定のスケジュールについて説明】</p> <p>【当日資料2 タウンミーティングのご案内について説明】</p> <p>【当日資料3 株式会社今仙電機製作所と犬山市との「健康増進および介護予防に関する連携協定」について説明】</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>他の方、ご意見がおありかと思いますが、時間もありますので、もしご意見がございましたらこの後事務局の方に直接お願いしていただきたいと思います。</p> <p>それでは本日の議題はすべて終了いたしましたので、これをもって事務局の方にお返しいたします。よろしくをお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>渡辺会長、ありがとうございました。また、委員の皆さまにおかれましても、熱心にご議論いただきました。本当にありがとうございます。本日皆さまからいただいたご意見を踏まえまして、アンケート、また事業を進めてまいりたいと思います。</p> <p>これをもちまして健康まちづくり推進委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。</p>